

(第3種郵便物認可)

信大の研究 最新成果

信州大のさまざまな研究を紹介する「第4回信州大学見本市」が21日、伊那市役所であり、多くの住民や商工関係者らが訪れてにぎわった。(岩田忠士)

林業にドローン、支援ロボ…



伊那で見本市

県内に四カ所あるキャンパスから年一度、研究者が集まる場として実施。これまで長野、松本、上田の各市で開き、伊那では初開催。全八学部から九十のブースが出展し、研究者や学生らが案内に立った。

農学部山岳科学研究

信州大のさまざまな研究を紹介した見本市会場＝伊那市役所で

所の加藤正人教授(左)は、小型無人機ドローンを活用した「スマート林業」を紹介。今人は海戦術で調べている森林内の木の本数や高さ、太さ、種類などが、ドローンと航空レーザーを使った新技術によって短時間かつ正確に把握できるようになると示した。

繊維学部による着衣型の生活動作支援ロボットの実演もあり、注目を集めた。実行委員会幹事長の巽広輔・理学部准教授(右)は「研究者が感じている好奇心やおもしろさを伝えられたらいい」と話した。

金沢

富山

長野

東京